

ここがみどころ スポットライト！うらわ美術館

平成 29 年 11 月 18 日(土)～平成 30 年 1 月 14 日(日)

子どもから大人まで地元の美術館をより身近に！

うらわ美術館は、「地域ゆかりの作家」と「本をめぐるアート」という二つのテーマで美術作品を収集し、他館にはない個性的なコレクションを形作ってきました。収蔵品を活用したさまざまな企画展は全国的に見ても当館独自の存在感を示し、注目を集めています。

——とはいえ、多くの地域の方々にとっては、美術館や展覧会鑑賞というどこか小難しく堅苦しいイメージがあり、普段の生活とは縁遠い存在だと思われがちのようです。

そこでこの展覧会では、より多くの市民とうらわ美術館が会えるきっかけとなるよう、うらわ美術館のコレクションの特徴と各作品の見どころをわかりやすくご案内します。地域の皆様にぜひとも知ってもらいたい鑑賞ポイントを思い切って明確に示すことで、それを手がかりにじっくりと展覧会を味わってもらおうとする試みです。さらに、当館に身近に接し、当館コレクションへの理解を一段と深めてもらうことを目的に、ご来場の皆様の展覧会鑑賞をサポートするプログラムも用意します。

当館に初めて訪れる人には、美術館や作品に親しむことの楽しさにふれるチャンスです。うらわ美術館通の人には、当館のコレクションを改めて見つめ直し、見慣れているはずの作品から新たな魅力を探り、作品をより一層慈しむ機会になることでしょう。

地域の方々や地元の美術館との距離感が近づくことを願って開催します。

わたしたちの街の、わたしたちの美術館に、スポットライトを当てて見つめようとする展覧会に、足を運んでみませんか。

基本情報

展覧会名：ここがみどころ スポットライト！うらわ美術館

会 期：平成 29 年 11 月 18 日(土)～平成 30 年 1 月 14 日(日)(42 日間)

休 館 日：月曜日(1 月 8 日は開館)、1 月 9 日、年末年始(12 月 27 日～1 月 4 日)

開館時間：午前 10 時～午後 5 時、土曜日・日曜日のみ～午後 8 時(入場は閉館
30 分前まで)

主催/会場：うらわ美術館 (さいたま市浦和区仲町 2-5-1
浦和センチュリーシティ 3F)

観 覧 料：一般 610(480)円、大高生 410(320)円
※中学生以下無料

※()内は 20 名以上の団体料金

※障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方 1 名は半額

※リピーター割引：観覧済の有料観覧券のご提示により、団体料金
でご覧いただけます(観覧日から 1 年、1 名様、1 回限り有効)

高田誠《浦和田島ヶ原のさくら草》制作年不詳 油彩、カンヴァス
左図：35.0×25.0 cm 右図：66.0×23.5 cm



展覧会内容

※当館の作品収集方針「地域ゆかりの作家」と「本をめぐるアート」を軸に、2部構成。

第1部：浦和アトリエ村の様相

浦和アトリエ村の形成に沿って、時系列や画家同士の繋がりを意識しながら油彩画を中心に約40点展示。

跡見泰、瑛九、奥瀬英三、金子徳衛、川村親光、小松崎邦雄、斎藤三郎、櫻井英嘉、杉全直、須田剋太、高田誠、武内鶴之助、田中実、田中保、寺内萬治郎、中野四郎、林倭衛、福原霞外、四方田草炎、和田賢一、渡邊武夫他(50音順)

第2部：本をめぐるアートの展開

一般的な「本」のイメージを超えるような、アーティストによる本の作品を約30点展示。

荒木高子、加納光於、河口龍夫、ピョートル・コヴァルスキー、ヴェロニカ・シェパス、淤見一秀、トゥツリオ・ダルビゾラ、藤堂良門、西村陽平、村岡三郎、山口勝弘、ロバート・ラウシェンバーグ、若林奮他(50音順)

出品点数：約80点

関連事業

鑑賞サポートボランティア養成事業

活動期間：8月9日(水)～平成30年1月31日(水)

来館者の豊かな展覧会鑑賞を支えるためのボランティアを養成します。

鑑賞サポートボランティアによるギャラリー・トーク

会期中毎週土・日曜日 14時～(30分程度)

上記の養成事業で講座を受けたボランティアが、来場者と一緒に展示されている作品を鑑賞しながら展覧会や作品の見どころを案内します。

※どなたでもご参加いただけます。ただし、当日の観覧券が必要です。

鑑賞サポートボランティアによるスクールプログラム

上記の養成事業で講座を受けたボランティアが、学校教育との連携事業で来館する児童生徒を対象に展示されている作品と一緒に鑑賞しながら、展覧会や作品の見どころを案内します。 ※対象：事前申し込みを行った学校団体

学校教育との連携事業(スクールプログラム)

市内小中学校の団体鑑賞を受け入れます。

開催ご希望の学校は美術館に事前にお問い合わせください。

公民館との連携事業

公民館の団体鑑賞を受け入れ、学芸員によるギャラリー・トーク及び美術鑑賞講座を実施します。

開催ご希望の公民館は美術館に事前にお問い合わせください。

本展覧会の試み

1. 地域の人々と美術館を結ぶ「鑑賞サポートボランティア養成」

美術館や美術に興味関心のある地域住民に、美術鑑賞の案内役として活躍してもらおうとする試みです。

2. 児童生徒の美術館体験を支援する「スクールプログラム(学校教育との連携事業)」

地域の子どもに美術館を訪れる機会を設けようとする試みです。

3. 来館者と展覧会を近づける「ギャラリー・トーク」

一方的に解説を聞くのではなく、来館者と案内役が対話しながら一緒に展示室をめぐる試みです。

4. 鑑賞者と作品をつなげる「解説パネル」

鑑賞のツボを押さえたような解説パネルを掲示します。

記事掲載について

広報用画像として下記の作品図版をご用意しています。本紙に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてご連絡ください。

確認事項

1. 作品図版使用の際は必ずキャプションを表記してください。
2. 取材、会場撮影の際には、必ず事前にご連絡、お問合せください。
3. 確認のため、校正原稿をお送りください。
4. 掲載日、放送日、掲出日が決まりましたら事前にお知らせください。
5. 掲載後には恐れ入りますが、掲載誌(紙)、データ等をご恵贈ください。

希望作品図版:

媒体名:

媒体種別:

貴社名:

ご担当者名:

tel:

fax:

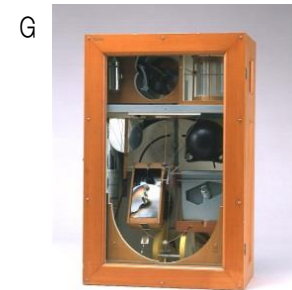
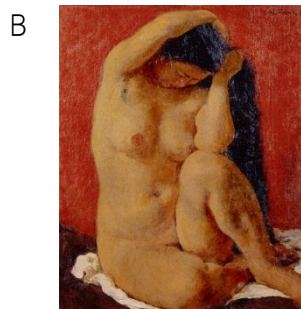
e-mail:

掲載日:

* 以下、読者プレゼント用招待券が必要な方はご記入ください。

必要枚数: 枚

送付先住所: 〒



キャプション : A. 田中保《マドロナの影》1914年 油彩、カンヴァス 59.0×46.0 cm
 B. 寺内萬治郎《髪》1957年 油彩、カンヴァス 90.5×73.0 cm
 C. 高田誠《浦和田島ヶ原のさくら草》1970年代後期制作 浦和コルソ西側モザイク原画
 D. 高田誠《浦和田島ヶ原のさくら草》1970年代後期制作 浦和コルソ東側モザイク原画
 E. 瑛九《ながれーたそがれ》1959年 油彩、カンヴァス 130.0×162.0 cm
 F. 西村陽平《CQ ham radio》1997年 本、焼成 26.0×23.0×11.0 cm
 G. 加納光於《アララットの船あるいは空の蜜》1971-72年 木、金属、フィルム、ガラス、未発表詩集(大岡信『砂の嘴 まわる液体』青地社、東京)他 68.0×44.1×22.6 cm

交通案内

電車利用: JR 京浜東北線、高崎線、宇都宮線、湘南新宿ライン、上野東京ラインで浦和駅下車。西口から徒歩 7 分。
 車 利 用: 東北自動車道(浦和出口から 9km)、首都高 5 号池袋線・埼玉大宮線(浦和南口から 4km)、外環自動車道(三郷方面より外環浦和出口から 5km、大泉方面より戸田西口から 7km)。当ビル地下の公営駐車場(有料)をご利用ください。

問い合わせ

うらわ美術館

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町 2-5-1 浦和センチュリーシティ 3F

tel:048-827-3215 fax:048-834-4327 e-mail: urawa-art-museum@city.saitama.lg.jp

<http://www.city.saitama.jp/urawa-art-museum/>

※うらわ美術館ウェブサイトにプレスリリースのデータや問い合わせフォームなどを掲載しています。ぜひご活用ください。